

911事件の疑惑が東京に集結!

アメリカ政府の公式見解に投げかけられる様々な疑問。真実が知りたい...

2001年9月11日にニューヨークとワシントンDCを襲い、3千人の命を奪った「同時多発テロ」。ブッシュ大統領が「我々につくか、それともテロリストにつくか」と演説したとき、真っ先に大統領について行くと宣言したのは日本の小泉首相でした。アメリカでは「愛国者法」が、日本では「有事法制」や「テロ特措法」が可決され、各国でもテロ対策の法律が次々とでき、世界は一変しました。

しかし、対テロ戦争の根拠となった911事件は、本当にアラブ人テロリストの仕業だったのでしょうか?

19人のハイジャッカーのうち7人は生存しているという報道があります。世界貿易センタービルの崩壊は爆薬によるものとは考えられない証拠映像もあります。ペンタゴンに激突したボーイング757型機の残骸がどこにもない、という説明のつかない映像もあります。

911事件から5年がたち、日本でも『週刊ポスト』『フラッシュ』『SPA!』などの雑誌が事件の公式発表を覆す報道をし、『911 ボーイングを捜せ ガイドブック』『911テロ捏造』『9・11の謎』『暴かれた[9.11疑惑]の真相』など多数の本も刊行されてきています。

そこで、米国と世界各地で開催されてきた市民・ジャーナリスト・研究者による911真相究明国際会議を、東京で初めて開催します。911事件の真相を究明することが、911事件とその後の対テロ戦争で犠牲になった人々を本当に弔うことだと私たちは考えているからです。

911事件の真相を究明し、「対テロ戦争」の根拠を失わせ、これ以上の殺戮と破壊を止めたいと願うあなたと共に、一日を過ごしたいのです。ご参加をお待ちしています。

911真相究明国際会議実行委員会一同
<http://911.globalpeace.jp/911TICJ>



内容

第1部:ビデオ上映会

『Loose Change』、『911ボーイングを捜せ』、『コンフロンティング・ザ・エビデンス』、他

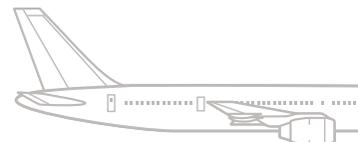
第2部:レセプションパーティー

参加者と講演者、参加者同士の交流と親睦を深めるための立食パーティーです。フリードリンク&フリーフード。ミニコンサートも予定しています。

第3部:シンポジウム

講演者:ベンジャミン・フルフォード、ジミー・ウォルター、成澤宗男、レイ・グリフィン(ビデオ参加)、スティーヴン・ジョーンズ(ビデオ参加)、他
総司会:きくちゆみ

※内容はことわりなく変更になる場合があります。ご了承下さい。



※ イラク一般市民の犠牲者は4万人とも10万人を越えるとも言われている。(大半が子どもと女性)

ベンジャミン・フルフォード Benjamin Fulford



カナダ出身のジャーナリスト。上智大学比較文化学科を経て、カナダのプリティッシュ・コロンビア大を卒業。『日経ウィークリー』記者、米経済紙『フォーブス』のアジア太平洋支局長などを経て、マスターマインド所属。
主な著書:『日本がアルゼンチン・タンゴを踊る日』(光文社)、『ヤクザ・リセッション〜さらに失われる10年』(光文社)、『泥棒国家日本と闇の権力構造』(中丸薫 共著 徳間書店)、『9.11テロ捏造 日本と世界を騙し続ける独裁国家アメリカ』(徳間書店)/他

ジミー・ウォルター Jimmy Walter



ReOpen911(911事件を再調査せよ!)の創業者兼代表。600万ドル(約7億円)の私財を投じて、全米の新聞やテレビに911の真相究明の意見広告を出した。現在は、世界各地を回り911事件が米政府の自作自演である証拠を突きつけ、在イラク米軍の即時撤退を呼びかけている。「世界貿易センタービルの崩壊に爆薬が使われていないと証明した人には100万ドルをプレゼントする」というキャンペーンを展開中。 <http://www.reopen911.jp>

成澤 宗男



1953年、新潟県生まれ。中央大学大学院法学研究科修士課程修了。パリでのジャーナリスト活動などを経て、現在『週刊金曜日』編集部企画委員。同誌に、米国の世界戦略や中東情勢に関する記事を多数執筆。著書に『ミッテランとロカール』(社会新報ブックス)、『9・11の謎』(金曜日)など。

デイヴィッド・レイ・グリフィン教授 David Ray Griffin

クレアモント神学大学名誉教授。911以降、「The New PearlHarbour」「911 Commission Report: Omission and Distortions」を相次いで発表し、911事件の真相究明に取り組む学者として一躍有名に。25冊の著作がある。

スティーヴン・ジョーンズ博士 Dr. Steven Jones

プリガムヤング大学物理学教授。世界貿易センタービルの崩壊は航空機の激突と火災のみによっては起こりえないことを物理学的に証明して、全米に議論を巻き起こす。プリガムヤング大学は保守の牙城として有名な大学で、彼の論文の影響は絶大。「911を真相究明する学者の会(Scholars for 911 Truth)」を立ち上げ、精力的に活動。

参加申し込み方法

【郵便振替】
00110-1-144224
ハーモニクスライフセンター

申し込み料を9月末までにお振込み下さい。通信欄に「911真相究明国際会議」と、参加希望内容(下記のいずれか)をお書き下さい。

- 全日参加 (5,000円)
- 第1部と第3部のみ参加 (3,000円)
- 第2部のみ参加 (3,000円)

※「第1部と第2部」「第2部と第3部」に参加ご希望の方は「全日参加」をお求め下さい。

※この会議は911事件の真相を究明したい個人が実行委員会形式で企画しております。国際会議の開催には多額の費用がかかりますため、ご寄付を募っております。1万円以上のご寄付を下さった方には、ジミー・ウォルター氏直筆サイン入りのDVD『コンフロンティング・ザ・エビデンス』(日本語字幕付、無料)をプレゼントします。

お問合せ メール: 911@wa3w.com ファックス: 04-7097-1215